

ライフサポートひなた

症 例 概 要 利用者：100歳代 介護度：4

利用期間：2017年5月中旬 ～現在

診断名：右大腿骨頸部骨折術後（2017年1月下旬） 高血圧症（50歳代～） 不眠症 認知機能低下 既往歴：右上腕骨骨折（保存加療） 腰椎圧迫骨折（80代）

2017年1月下旬リビングで転倒し救急搬送。右大腿骨頸部骨折と診断され翌日手術施行。術後経過良好とリハビリ目的にて回復期リハビリテーション病院に入院。その後家族の希望で（リハビリ加療目的）5月中旬当所に入所となった。高齢と認知面の低下にてADL介助は必要である。

内 容

今年の8月、コロナ感染対策により居室で過ごす中、一時的に意識消失（原因不明）なども重なり活動量やADLの低下が見られ、食形態が低下し「もういない」「部屋に戻りたい」と否定的な言葉がみられるようになってしまった。

ご家族との誕生日のお祝いを予定されていたが感染対策の為延期になってしまい、ご家族や職員も何かしてあげられないかと考え、食べたい料理の希望を聞いてみると、沖縄料理の「ラフテー」が食べたいと希望が聞かれた。食事形態もペースト食まで落ちていた為、ラフテーを召し上がるには食事形態のアップが課題となっていた。希望の沖縄料理に向けSTと協力し日々のリハビリに取り組んだ。

STのリハビリによる発声練習や沖縄民謡の歌の練習をしたり、介護スタッフと以前よく踊られていた沖縄踊りの「カチャーシー」をされたり、ご本人の頑張りもあり徐々に活気も出て来られ、食事形態のUPも獲得できた。

栄養士・厨房の協力もあり、希望だった沖縄料理「ラフテー」を提供し、STの見守りの元、笑顔で召し上がる事が出来た。

感染状況も落ち着き、ご家族と一緒に誕生日のお祝いもできた。ご本人の活気も戻られ今も元気にリハビリで「沖縄民謡」の練習をされ、スタッフとは沖縄踊り「カチャーシー」を踊られています。ご高齢ながらもご自身の希望の為、一時的に低下したADLを日々の努力により回復し、希望も達成できた今回の事案を、キラキラ介護賞に推薦致します。